

科目	単位 (時間数)	時期	講師
助産管理学	2 (30)	1 学期 2 学期	教育主事 院内講師 院外講師
目 標			
助産業務の管理および病院・助産所の管理の基本と、周産期の医療安全・連携・協働について必要な基礎的知識を修得できる。			
回	時間	項目	授業内容
1	2	助産所の管理・運営	1) 助産管理の概念 2) 助産所における助産管理 ①助産所に関する関係法規 ②助産所の安全管理 ③助産所の経営 ④医療機関との連携 オープンシステム、助産外来・院内助産 3) 周産期医療における連携・協働 周産期医療システムについて
2	2		4) 地域における助産管理 ・地域/多職種との連携と助産師の役割 ①地域包括ケアシステム ②子育て世代包括支援センター
3	2		③地域における助産所の活動 女性の健康と助産師 地域における助産師の役割、連携
4	2		地域における助産師活動の実際
5	2		④助産所の管理・運営の実際 ・助産所業務ガイドライン ・助産所での分娩の適応基準 ・嘱託医及び嘱託医療機関との連携・協働 ・救急時の搬送と搬送基準
6	2		・環境・設備・備品の整備 ・地域行政との連携 ・オープンシステムの運営 ・産後ケア事業の実際
7	2	周産期医療における連携・協働	1) 地域における周産期医療体制 各自の出身都道府県の周産期医療体制についてプレゼンテーション
8	2		

9	2	助産管理の基本と助産業務管理	1) 助産管理の基本、業務管理の過程 • 業務分析・目標管理・評価 • PDCA サイクル • 人事、物品、経済、情報、時間 • 人材育成 • 業務の質の管理 • 助産サービスの評価 2) 産科棟における助産管理 • 看護サービスマネジメントと診療報酬 • 業務基準・手順の作成と検討 • 看護記録 • 教育の管理	講義	
10	2	助産業務管理と医療経済	1) 医療保険制度 2) 診療報酬 3) 分娩費用、健康診査に係わる費用 4) 出産育児一時金	講義	
11	2	周産期における医療安全	1) 周産期のリスクマネジメント ①医療事故防止、感染対策 ②事故対応と損害賠償 ③産科医療補償制度 2) 災害の備え、災害対策・支援活動 災害訓練、物品の備え、発災時の初期対応 支援活動	講義	
12	2	助産師及び助産師の業務に関わる法と責任	1) 助産業務に関わる関係法規 2) 助産師の法的義務・届出に係る関係法規	講義	
13	2		3) 女性の支援に関わる関係法規 4) 子供の支援に関わる関係法規	講義	
14	3	助産管理の基本と助産業務管理	1) 看護師長による業務管理の実際 • 労務管理 • 看護提供方式と業務管理 • 時間管理、業務割当、問題対応の実際 (グループワーク)	講義 GW	
15	1	終講試験 (45 分)		試験	
授業形態		講義			
評価方法 点数配分		筆記試験 100 点 履修規程第 5 条、第 6 条に定めるとおりとする。			
テキスト		• 助産学講座 10 • 新版 助産師業務要覧 2024 年版 [ I 基礎編 ]			
参考図書等		• 助産業務ガイドライン 2019 • 下記のものは必要に応じて、各種ホームページよりダウンロードしておくこと。 • 院内助産・助産師外来ガイドライン（日本看護協会） • 産後ケア事業ガイドライン（厚生労働省） • 子育て世代包括支援センター業務ガイドライン（厚生労働省） • 分娩施設における災害発生時の対応マニュアル作成ガイド（日本看護協会）			
備考		講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。			